

～陸上養殖システム導入支援事業 FAQ～  
よくあるご質問について

Q1:陸上養殖とはどのようなものですか。

A1:陸上の施設で水産物を飼育する養殖手法です。

Q2:陸上養殖の手法にはどのようなものがありますか。

A2:①かけ流し式

海や川、井戸などから新たな水を供給することで、飼育水槽を換水手法

②閉鎖循環式

飼育で汚れた水をろ過・滅菌し、飼育水として再利用する手法

③半閉鎖循環式

かけ流し式と閉鎖循環式を組み合わせた飼育手法

Q3:補助対象となるのはどの手法ですか。

A3:かけ流し式、閉鎖循環式、半閉鎖循環式、いずれも補助対象となります。

Q4:補助対象となる魚種はどのようなものがありますか。

A4:魚類(ヒラメ、トラフグ、サケ・マス類など)、貝類(アワビなど)、藻類(海ブドウなど)、その他(エビ、ウニなど)を想定しています。

Q5:養殖と畜養の線引きはどのようになりますか。

A5:「養殖」とは、幼魚等を重量の増加または品質の向上を図ることを目的として、出荷するまでの間、給餌する事により育成することです。

「畜養」とは、出荷調整等の目的で短期間一定の場所に保存することを目的とするものです。

① 完全養殖:種卵→育成→親魚→産卵・・・補助対象

② 養殖:稚魚から育成・・・補助対象

※養殖期間については、ウニの養殖マニュアルにおいて年間4クール(1クール3か月)としていることから、3か月間を目安とし、個別の魚種、事業形態により判断します。

③ 畜養:出荷調整の目的で短期間一定の場所に保存・・・補助対象外

Q6:宮城県の補助金との併用は可能ですか。

A6:基本的には併用可能です。ただし、宮城県の補助金によっては、併用不可となっているものがありますので、ご相談ください。

Q7:何年間継続活用できますか。

A7:採算ベースに乗るまで3年程度要すると想定し、最長3か年の補助が可能です。

Q8:参入する際、補助金以外の支援はありますか。

A8:事業者サポートは必要であると考えておりますことから、漁協のほか、地元漁業者との調整等、要望に応じて、できる範囲でサポートに努めてまいります。